# 令和８年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立思斉小学校

４月から５月にかけて、文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童・生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

**調 査 期 日** 令和8年4月23日（木）

(注)質問調査については、オンライン方式（CBT方式）のため、調査日を分散して実施

**調査の対象学年** 小学校第6学年

**調 査 の 内 容**

(1) 教科に関する調査

国語、算数

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記①と②を一体的に問うている。

(2) 質問調査（1人1台端末を用いたCBT方式）

| | |
|---|---|
| 児童生徒に対する質問 | 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 |
| 学校に対する質問 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

**教科に関する調査結果及び考察について**

・全国学力・学習状況調査は、小学６年生及び中学３年生を対象に、国語、算数・数学、英語について実施されています。

・また、調査問題は、各教科の一部の内容について出題されているものであり、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり、「学校教育活動の一側面」です。

したがって、調査結果を見る際には、この点をご理解いただいた上で、ご覧ください。

## 調査結果及び考察

**質問調査**

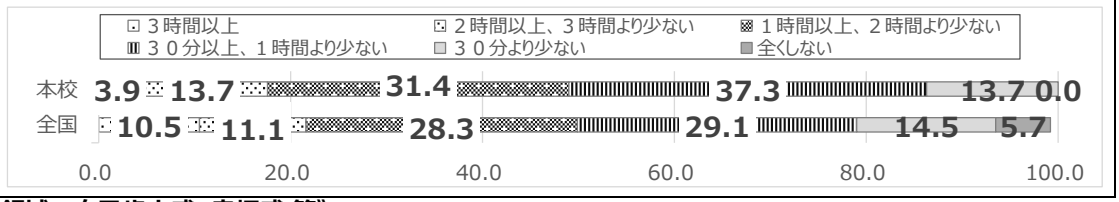
### 佐賀市学校教育ビジョンに関わる設問より（キーワード：自律・尊重・創造・主体性・当事者意識）

**《質問領域：主体的・対話的で深い学び》**　（注）数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（%）

| 質問番号 | 質問事項 | 本校(%) | 全国(%) |
|---|---|---|---|
| 39 | 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた | **84.4** | 77.6 |
| 42 | 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている | **94.1** | 85.7 |
| 46 | 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる | **100.0** | 91.4 |

**《質問領域：主体的な学習の調整、学習習慣》**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 22 | 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか | **90.2** | 79.4 |
| 43 | 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか | **92.2** | 78.4 |
| 23 | 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)１日当たりどれくらいの時間勉強していますか | | |




**《質問領域：自己肯定感、幸福感 等》**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 8 | 自分には、よいところがあると思う | **90.2** | 85.6 |
| 10 | 将来の夢や目標を持っている | **84.3** | 81.8 |
| 15 | 学校に行くのは楽しいと思う | **96.1** | 85.7 |
| 21 | 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか | **96.0** | 92.5 |

**《質問領域：向社会性》**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 14 | 人の役に立つ人間になりたいと思いますか | **100.0** | 95.8 |
| 33 | 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う | **84.3** | 80.1 |

**本校の調査結果**　※◎（強み）、●（課題）

◎学習をその場で終わらせるのではなく、前時や次時とつなげる思考が育っています。

◎自分の考えを文字や言葉に表出したり、他者の考えに触れたりすることで、考えを広げたり深めたりする力が育っています。

●学習が「好き」や「得意」など、好意的に考えている児童が少ない傾向の教科があります。

**本校の調査結果**　※◎（強み）、●課題

◎学校が好きで、自分の居場所があると感じている児童が多くいます。

◎人が困っているときは進んで助けたり、他者のために何かをしたいと考えていたり、他者や社会への関心が育っています。

●普段の生活の中で「幸せな気持ちになることがある」と肯定的に答えた児童は、96%と高いですが、「とてもある」と答えた児童は、全国平均よりもやや少ないです。

### 調査結果を受けて

**【学校では】**

○主体性を伸ばすための３つの力「自律」「尊重（自由の相互承認）」「創造」を育んでいきます。「自分には、よいところがある」と自信をもって子どもたちが言えるように、自己肯定感や自己有用感を高める取り組みを実践していきます。

○児童が将来の予測が困難な先行き不明な社会といわれている現代社会を生き抜いてい行けるような資質・能力を高めていける授業づくりを継続していきます。

○AIの進化が著しい現代社会において「オンライン」ではなく「オフライン」の楽しさや有効性を学校という場で普段の学習や行事等を通して、たくさん味わわせていきます。

**【ご家庭では】**

○「尊重」の力を育むためには、お子さんが困っているときには、大人の伴走支援（①どうしたの？②あなたはどうしたい？③私に何かできることはある？）で関わることが大切です。

○親子での対話する時間を大切にし、ご家庭が安全基地となるコミュニケーションを大切にしてください。

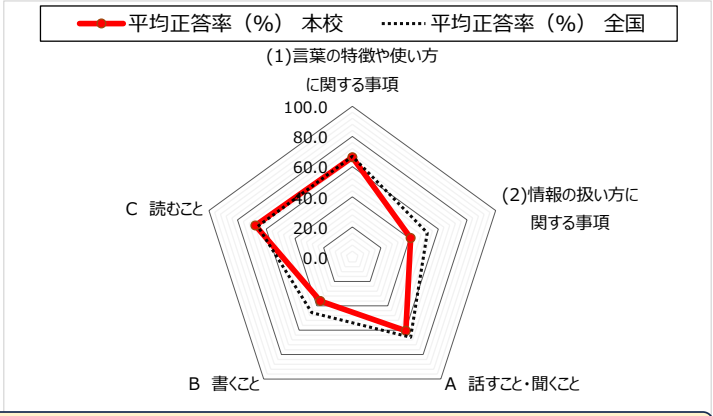
○児童のがんばりや良さをたくさん認める場を作ってください。

教科調査

# 国　語

## 《学習指導要領の内容別　平均正答率》

| 学習指導要領の内容 | | 平均正答率（%） 本校 | 全国 |
|---|---|---|---|
| 知識及び技能 | (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | **66.2** | 66.8 |
| | (2)情報の扱い方に関する事項 | **40.7** | 52.3 |
| 思考力、判断力、表現力等 | A　話すこと・聞くこと | **60.5** | 65.8 |
| | B　書くこと | **36.1** | 45.7 |
| | C　読むこと | **67.6** | 65.9 |




## 《問題形式別　平均正答率》

| 問題形式 | 平均正答率（%） 本校 | 全国 |
|---|---|---|
| 選択式 | **58.2** | 61.9 |
| 短答式 | **54.6** | 62.6 |
| 記述式 | **50.9** | 54.9 |

**結果**　※◎（強み）、●課題

◎自分の考えを自分の言葉で表出する力が育っています。

◎言葉の使い方や表現の工夫に気付ける力が育っています。

●他者の意見や考えを踏まえながら自分の考えを表出することに課題が見られます。自分の考えだけでなく、他者の考えを踏まえた意見交流の経験を積み重ねることが必要です。

## 《正答率の高い問題》【強み】

| 問題番号 | 出題の趣旨 | 平均正答率（%） 本校 | 全国 |
|---|---|---|---|
| ３三（２） | 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる | **85.2** | **76.4** |
| １二（３） | 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる | **77.8** | **65.2** |

## 《正答率の低い問題》【課題】

| 問題番号 | 出題の趣旨 | 平均正答率（%） 本校 | 全国 |
|---|---|---|---|
| ２三イ | 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる | **25.9** | **45.2** |
| ２四 | 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる | **16.7** | **33.5** |

## 調査結果を受けて

**【学校では】**

○子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。

○普段の授業の中で、学習を「ふりかえる」時間を作り、自分の思考の過程を文字や言葉で表出する時間を設けます。

○週末作文をアップデートし、上学年には「ミッション付き」のテーマを設けます。

**【ご家庭では】**

○音読や読書を大切にしていきましょう。しっかり読むことで、文の構成、文節ごとの区切り、言葉の意味を理解することができ、要点や意図を捉えることもつながります。

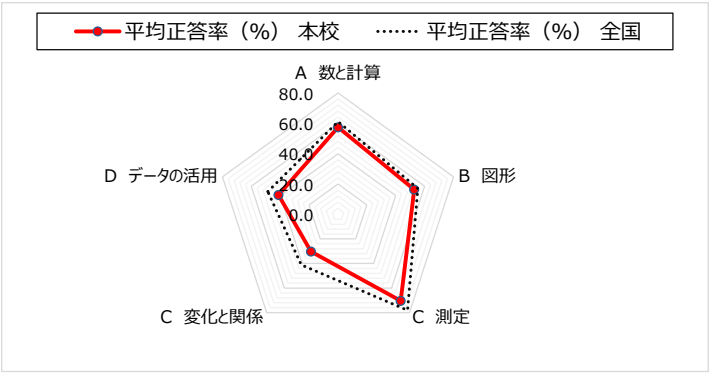
○お子さんの話を最後まで聞き、「どうしてそう思ったの？」と考えを引き出す対話を大切にしてください。

○ニュースや出来事について、理由を含めて話す機会をつくってください。

# 教科調査　算数

### 《学習指導要領の内容別　平均正答率》

| 学習指導要領の内容 | 平均正答率（%） | |
|---|---|---|
| | 本校 | 全国 |
| A　数と計算 | **57.4** | 61.1 |
| B　図形 | **52.8** | 55.3 |
| C　測定 | **70.4** | 78.1 |
| C　変化と関係 | **30.2** | 41.1 |
| D　データの活用 | **41.2** | 48.6 |




### 《問題形式別　平均正答率》

| 問題形式 | 平均正答率（%） | |
|---|---|---|
| | 本校 | 全国 |
| 選択式 | **53.3** | 56.0 |
| 短答式 | **57.6** | 59.7 |
| 記述式 | **36.4** | 48.5 |

**結果**　※◎（強み）、●課題

◎計算や図形の知識など、基本的な知識や技能は身についています。

●必要な情報を、図やグラフ等の視覚的に分かりやすいツールに表したり、それを読み取ったりすることには課題が見られます。

●情報が多い問題の中から、必要な情報だけを選んで、それを使って問題解決する力に課題が見られます。

### 《正答率の高い問題》【強み】

| 問題番号 | 出題の趣旨 | 平均正答率（%） | |
|---|---|---|---|
| | | 本校 | 全国 |
| 1（1） | 立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる | **85.2** | 72.7 |
| 3（2） | 整数と小数の減法の計算をすることができるかどうかをみる | **70.4** | 58.1 |

### 《正答率の低い問題》【課題】

| 問題番号 | 出題の趣旨 | 平均正答率（%） | |
|---|---|---|---|
| | | 本校 | 全国 |
| 2（4） | 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる | **18.5** | 34.2 |
| 4（1） | 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる | **40.7** | 56.2 |

## 調査結果を受けて

**【学校では】**

○　学習問題の内容を視覚化したり、自分の考えを自分なりに図や表にまとめたりする活動を行っていきます。

○　情報過多の問題や情報不足の学習問題を提示するなど、普段の授業の中でも問題提示を工夫していきます。

**【ご家庭では】**

○「答えは何？」だけでなく、「どう考えたの？」と過程にも目を向けてください。

○分からないことがあったときは、すぐに答えを教えるのではなく、一緒に考えたり調べたりする時間を大切にしてください。

○算数が好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身の回りには算数を使えるものがたくさんあります。